

2019年12月9日
株式会社高島屋
東神開発株式会社
清水建設株式会社

ベトナム・ハノイ市における商業・オフィス複合ビル 「インドチャイナプラザ・ハノイ」の共同取得について

株式会社高島屋<本社：大阪市中央区、社長：村田 善郎>の連結子会社である東神開発株式会社<本社：東京都世田谷区、社長：倉本真祐、以下、東神開発>と清水建設株式会社<本社：東京都中央区、社長：井上 和幸>の連結子会社であるシミズインベストメント（アジア）社<本社：シンガポール、社長：鷺見晴彦>は、ベトナム・ハノイ市において、商業・オフィス複合ビル「インドチャイナプラザ・ハノイ」の所有・運営会社である Hanoi Residential and Commercial Centre - HRCC Limited の持分を、2019年11月29日に共同で取得しましたので、お知らせします。尚、2社の持ち分比率は60%（東神開発）と40%（シミズインベストメント（アジア）社）です。

当ビルは、新都心として開発が進むハノイ市内カウジャイ区のスアントゥイ通りに面する複合ビルです。空港へのアクセスも良く、至近では都市鉄道3号線の「国家大学」駅の建設が進んでいます。近隣には日本人学校も所在し、日本人駐在員及びそのご家族にも人気の高いエリアです。

東神開発は2019年6月には、同ハノイ市内のスターレイクプロジェクトで、2区画における事業参画を決定しています。今後も成長が見込まれるベトナムにおいて、更なる事業展開を図り、高島屋グループの成長分野である海外事業を拡充していきます。

一方、清水建設株式会社は、ベトナムをアジアにおける投資開発事業の主要マーケットの一つと捉えており、引き続き同国においてオフィスやホテル、住宅開発などに取り組む計画です。

1. プロジェクト概要

当ビルは商業・オフィス・住宅から構成される複合ビルで、そのうち商業・オフィス部分を今回取得しました。今後、両社のノウハウを活用し商業部分をリニューアルするなど、物件の付加価値を高める計画です。また、物件の取得と同時にビル運営会社も傘下となり、この組織の有するノウハウを今後の開発事業に活用してまいります。

株式会社高島屋と清水建設株式会社は優良な事業パートナーとのアライアンスを海外事業の基本戦略としており、今回の共同事業に至りました。

2. 物件概要

所在地	ベトナム・ハノイ市 カウジャイ区	
敷地面積	16,619 m ²	
延床面積	商業部分	24,900 m ²
	オフィス部分	17,400 m ²
賃貸面積	商業部分	18,600 m ²
	オフィス部分	13,300 m ²
規模	商業部分	地上1～5階
	オフィス部分	地上5～15階
保有持分	東神開発 60%、清水建設 40%	
竣工年	2012年	

インドチャイナプラザ・ハノイ外観。

左側が商業施設とオフィス、右側2棟が住宅



以上